

説 教

元旦礼拝説教 北浜チャーチ  
黒田 禎一郎

2017年1月1日（日）

主 題：「実りある人生の法則を知る」

—結実のメカニズム—

テキスト：マルコ福音書4章13-20節

**はじめに****1. 明けまして おめでとうございます。****主様の豊かな祝福が、皆様の上にありますように！**

今の時代は、ほんとうに先が見えない、読めない時代へ入ってきました。

多くの人々が将来に不安をかかえています。混迷、混乱、不透明、不安……。そういう時代だからこそ、しっかりした座標軸が求められます。

**2. 私たちは、新年を実りあるものにするためどんな目標を立てるでしょうか？****{例 話} 先日、目標の立て方についてアドバイスをもらいました。**

- ① 元旦に目標を宣言する
- ② 期間をはっきりさせておく
- ③ 自分で目標を決め、数字で設定する
- ④ 目標設定は高すぎず低すぎず
- ⑤ 神に約束する
- ⑥ 紙に書いて壁に貼っておく
- ⑦ 目標達成時には自分をほめる

\* これらのアドバイスを成功へ導くには、本人の努力が必須です。

「そこで頑張ってください！」となります。しかし、皆それなりに頑張っているのではないのでしょうか？

**3. 頑張ることは、とても大切なことです。しかし、『頑張る』だけで、人生がうまく進むのでしょうか？ クリスマン生活は、「頑張ることができる」種類のものではありません。それが結論です。では、どうすれば実りある新年を迎えることができるのでしょうか？ イエスはこう言われました。**

・ **聖書：「良い地に蒔かれるとは、みことばを聞いて受け入れ、三十倍、六十倍、百倍の実を結ぶ人たちです。」 マルコ4:20**

・ イエスは、地に蒔いた種は芽を出し、人手によらず実をならせると言われました。このたとえ話しは、誰でも理解できます。皆さん。この聖句は、イエスが自然界の現象について教えているのではありません。このたとえ話しは、「神の国」の支配について教えているのです。つまり神の支配が人間に及ぶ時、このようなことが起きると教えています。つまり価値観が変わります。

(図1：「価値観の転換」参照)

- ところで、マルコ福音書4章の文脈を読めば分かるように、「種」、「地」は象徴的表現です。

「種」：神のみことば（聖書の言葉）

「地」：人（人の心）

これは神と人間の関係についてです。つまり神のことばは、人間に向かって語られ、それを心にとめる人は自ずから豊かな実を实らせると言われました。これは実に単純な自然界の法則（神の法則）です。

種が蒔かれ ⇒ 発芽 ⇒ 成長 ⇒ 結実

- 実を实らせる、そこにはプロセスがあります。結実は人生の最大目標です。私たちも仕事で成果を得ること、勉強・研究で成果を得ることを願う者です。そしてその結果が、2倍になるならば大喜びではありませんか。聖書は30倍、60倍、100倍の実を結ばせると教えています。これほどの祝福はありません。皆さん！ 神の祝福がそこにあるからです。
- それでは、イエスこの「たとえ話」は、何を教えているのでしょうか？ 2点。

## 大切なポイント

### 1. 結実のメカニズム

- 1) イエスは「土地」を、「人」になぞらえました。これはユダヤ的発想からすれば自然なことです。ヘブル語で「人」のことを「アダム」と言います。神が最初に造られた人はアダムと呼ばれますが、これは人名としても、また人一般を表す言葉もどちらもアダムです。創世記
  - 2:7 「その後、神である主は、土地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。そこで、人は、生きものとなった。」
 土地のことを「アダマー」と言います。語源的には「アダムはアダマー（土地）から造られたもの」です。
  - 聖書では「アダム」（人）と「アダマー」（土地）は、密接な関係があると教えています。罪を犯して、神との関係が切れてしまった人に対して、神はこう言われました。
 

創世記3:19 「あなたは、顔に汗を流して糧を得、ついに、あなたは土に帰る。あなたはそこから取られたのだから。あなたはちりだから、ちりに帰らなければならない。」
  - 罪を犯した人に対して、神は「あなたは土（土地）だと宣言しています。イエスはたとえ話しの中で「神の国は、人が地（土地）に種を蒔くようなものだ」、「地（土地）は人手によらず実を实らせる」と言われましたが、この「地（土地）」は「人」を意味していることを心に留めねばなりません。ヘブル文化の中で生活していた聴衆ユダヤ人には、この種まきの譬えは判りやすいものでした。

2) では、イエスはヘブル文化に馴染みが薄い異邦人には、何を教えようとしているのでしょうか？

- ・結論として、こう言えると思います。神のかたちに創造された人が、罪によって、神のかたちであるのに壊れてしまい、ただの土に等しいものになってしまったたことです。しかし、そのただの土に等しいものになった人に、神のみことばの種が蒔かれ、発芽し成長すると、結実します。
- ・そして、再び神の創造の姿に取り戻すところに、神のご計画があります。その姿の最終完成を、イエスの内に見ることができます。(第二のアダム)
- ・聖書の教えは、人間は努力によって変えられるのではないと教えています。神のみことばと、それを受け留めることで、自然に実を結ぶと教えています。つまり、みことばの種と、地(土地)の関係によって、幸いな神の姿が結実すると教えているのです。私たちはこのことを、更に掘り下げてみたいと思います。まず自然界を観察してください。そこには種がどのようにして実を結ばせるのか、そこには法則(原則)があります。私は自然界の法則から考えてみましょう。3点

### 原則1：命は種の中に隠されている

- ・種だけを見ると、あのような美しい花が咲いたり、多くの実を実らせることなど想像を超えるものです。しかし、種にはその命の計画があります。

種が蒔かれ ⇒ 発芽 ⇒ 成長 ⇒ 結実

それがどのような順番で、どのように行われるか、種の中に全て隠され、命の中に決定する要素が秘められています。

- ・同じように、聖書のことばは生きています。みことばは私たちを導き、照らし、満たし、私たちの人格に働きかける作用があります。そしてイエスの姿という人格にまで成長する秘密が、みことばの命の中に既に織り込まれているのです。聖書のことばには、大いなる力が秘められています。
- ・「十字架のことばは、滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私たちには、神の力です。」 1コリント1:18
- ・「神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。」 ヘブル人への手紙4:12

\* 種は、人目には価値が無いように見えても価値があります。同じように、みことばの「種」にも大いなる命が隠されています。

### 原則2：種は土を必要とする

- ・どんなにすばらしい植物の種でも、地に蒔かれなければ、発芽しません。ましてや成長し実を結ぶことはありません。種は土地を必要とします。同じように、神の言葉である種も人の心に蒔かれ、はじめて価値があります。皆さん。聖書のことばを、ペットに与えても、また覚えさせようとしても何の実も結びません。聖書の言葉は、

人の心に蒔かれ、そして留まるとして始めて結実するものです。ヨハネ福音書  
 15:5 わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。  
 15:7 あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいものを求めなさい。

- ・みことばがとどまるとは、どういうことでしょうか？ 単に覚えるということではありません。留まるとは、心の琴線に触れることです。みことばが心に刺し込み、心に残り、人の思行と行動にまでを影響を与えることを言います。つまり年月の経過とともに、「神の国の世界観」がアップしてくるのです。（図2：「神の国の世界観は年月とともに」参照）
- ・聖書のことばは、神からのラブレターです。聖書のことばが人の心にとどまる時、心の中に変化が起こり、行動にも変化を生じさせます。みことばの種は、人の心の中にとどまらなければ、そのままです。どんなに価値があっても、それが命の芽を吹くこともありません。みことばの種は、命を発芽させるために私たちの心を必要としているのです。その種が心にとどまる時、その人の行動を変えるような喜びを与えます。

### 原則3：地は自ずから実を結ばせる

- ・このたとえ話の中心テーマになりますが、種が実を実らせるのは、人が頑張ったかではありません。結実のメカニズムは種の中にあるのです。しかし、土がそれを支え、大きく成長させます。イエスも「どのようにしてか、人は知りません」と言われた。マルコの福音書  
 4:27 夜は寝て、朝は起き、そうこうしているうちに、種は芽を出して育ちます。どのようにしてか、人は知りません。
- ・すなわち、結実のメカニズムは人に隠されているのです。人の頑張りではありません。人の働きによるのでもありません。神のかたちを(姿)を結実させるのは、ただ神のみことばである「種」にあると、教えています。
- ・創世記  
 1:27 「神はこのように、人をご自身のかたちに創造された。神のかたちに彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。」
- ・アダム（人）は神のかたちに創造されました。神のかたちを現すこと、これがアダムの本質でした。しかし罪のため、その本質である神のかたちが壊されました。神はみことばの種によって、もう一度そのかたちが結実するよう望んでおられます。それが神の望まれるアダム（人）です。
- ・すでに申し上げたように、大切なことは植物の種と土は互いに適合し合うことです。同じように、人の心の中に蒔かれた神のみことばの種は、先ず心の中で発芽し、心の中で根を張り、大きく成長します。そしてイエスの人格が結実するようになりま

す。神はあなたを、そのようにすばらしく造られるのです。神はあなたを、そのように尊いものとして創造しておられるのです。

\*これが結実のメカニズムです。これらの原則をしっかりと覚えてください。

## 2. 地を整えられる主

聖書：「地は人手によらず実をならせるもので、初めに苗、次に穂、次に穂の中に実がはいります。」 マルコ4:28

### 1) 神はケアーしてくださるお方

- ・この種（みことば）は一度植えられると、人をほったらかしにはされません。太陽の光を与え、雨を降らせるのは神です。太陽の光がなければ、植物は健康に成長しません。雨が降らなければ、土地は乾き、そこに植える植物も死んでしまいます。神は種を蒔かれた土地（私達の心）を、ほったらかしにすることはありません。すなわち神は良い農夫のように、雨の日も、雪の日もケアーして下さいます。

### 2) 四つの異なる地

- ・イエスはたとえ話しの前に、「種まきのたとえ」を語られました。  
(マルコ4章3～9節を読む)
- ・ここに四つのタイプを見ます。ある人はこう分析しました。
  - ① タイプ1（15節）：説教を聞いても馬耳東風。全然残ってない
  - ② タイプ2（16節）：信仰が表面的、心の奥底まで入ってない
  - ③ タイプ3（17節）：いつまでたっても肉
  - ④ タイプ4（20節）：模範的クリスチャン、聖書を読み、祈り、喜びを持って奉仕する人
- ・ここで大切なことは、このたとえは自分や人を評価したり、また裁いたりするために語られてのではないことです。
- ・私達の心は放っておいたら、タイプ1かタイプ2か、あるいはタイプ3です。タイプ4になるためには、どうしても神の手が私たちに伸ばされる必要があります。  
「良い地に蒔かれるとは、みことばを聞いて受け入れ、三十倍、六十倍、百倍の実を結ぶ人たちです。」 マルコ4:20

### 3) では、どうすれば「タイプ4」になれるか？

- ・イエスは、ヨハネの福音書の中で何度も何度も「私にとどまりなさい」、「私の愛の内にとどまりなさい」、「私のことばにとどまりなさい」と言われました。なぜでしょうか？ ⇒ それは、みことばに留まろうとしないからです。人の本性は、善よりも悪を愛するものです。
- ・このたとえでいうなら、タイプ1～タイプ3になりやすいのです。イエスはこのことをご存知でした。イエスの側近であっても、このタイプに陥り易かったのです。だから何度も「とどまりなさい」、「とどまりなさい」と言われました。

・では、「とどまる」とは、どういうことでしょうか？

⇒ 簡単に言えば、常に意識すること（意思）

① **口ずさむこと 詩篇**

1:1 幸いなことよ。悪者のはかりごとによらず、罪人の道に立たず、あざける者の座に着かなかった、その人。

1:2 まことに、その人は主のおしえを喜びとし、昼も夜もそのおしえを口ずさむ。

1:3 その人は、水路のそばに植わった木のように。時が来ると実がなり、その葉は枯れない。その人は、何をしても栄える

・ユダヤ人たちは・・・？ 申命記

6:4 聞きなさい。イスラエル。主は私たちの神。主はただひとりである。

6:5 心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。

6:6 私がきょう、あなたに命じるこれらのことばを、あなたの心に刻みなさい。

6:7 これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。あなたが家にすわっているときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも、これを唱えなさい。

② **地（心）をイエスの手にゆだねること**

・イエスの手にゆだねるならば、イエスがサタンの働きを打ち砕いてくださいます。心の中にある大きな石、根が張るのを邪魔している石が取り除かれます。そして、いばらを取り除いてくださいます。

エゼキエル書

36:26 あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を授ける。わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える。

36:27 わたしの霊をあなたがたのうちに授け、わたしのおきてに従って歩ませ、わたしの定めを守り行なわせる。

{例 話} Mrs. Ruth Powers in USA

- ・数年前に、北浜チャーチへ「アーミッシュクリスチャン」約30名を連れてきたく Mrs. Ruth Powers。80歳近いでしたが、ルギッシュな行動には驚きました。彼女敬する敬虔なクリスチャン。
- ・では、彼女はどんな人物であろうか？

彼女は日本を始めとして、米国で英語を勉強したい青年対称の英語学校を開設。



ユの人&  
ださった  
あのエネ  
は私も尊

<Mrs.

Ruth Powers>

一時は、日本からだけでも年間 I 千人以上の若者が、この学校へ。  
全員が教会のクリスチャン家庭でホームステイ。

彼女のビジネスは大成功し、大きな働きをした。今は、後継者にバトンタッチ。

- その彼女からクリスマス直前に、クリスマス・カードとレターが届いた。彼女の誕生日は12月23日、イヴ前日です。1年前、彼女は「肺癌」(ステージ4)が告示され、余命約4カ月の命と宣告された。しかし神の恵みと医学によって、今も生命が支えられている。彼女はレターで「私にとって生きることはキリスト、死ぬことも益です。」(ピリピ1:21)を引用しました。
- 彼女の手紙を読んで驚いたことは、80年の歳月を振り返り、また今年を振り返り、「感謝」ということばを何度も繰り返し使っていることだ。現在、孫が38人、ひ孫が32人、そして2017年にはさらに3人のひ孫が増えるそうだ・・・。
- また彼女の英語学校には、日本、中国、韓国、ブラジル、フランスなど全世界から多くの若者が集い、インターナショナルの友がいます。(その内、何人もが牧師となっている)その彼らから多くのクリスマス・カードが届いた。
- また彼女が所属している長老教会と牧師にも感謝を！  
子どもたちは、彼女の病状を考慮し誕生日前に、80歳の誕生パーティーが開かれた。なんと70ファミリーも参加したとのこと。驚きです。
- さらに驚くことに、今も家庭を開放し「聖書研究会」を開いていること。現在、第一コリント人への手紙を学んでいる。  
⇒みことばの学びが、彼女の力の源となっている。
- 一人の主婦が起こしたビジネスを通し、神が栄光を現わされた。  
彼女は非常に魅力に富む婦人だ。クリスチャンとして、実業家として、主婦として、素晴らしい器です。私は尊敬している。  
「良い地に蒔かれるとは、みことばを聞いて受け入れ、三十倍、六十倍、百倍の実を結ぶ人たちです。」 マルコ4:20

#### 4) 主のお姿に成長する

イエスは、たとえ話しで、地(人・アダム)にみことばの種を蒔くことを語られました。ヨハネ福音書：「初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。」(1:1)

- 聖書のみことばが人の内側にとどまる時、イエスが人の内側に住み始めます。みことばが、私の内にとどまる時、イエスが住み始め(内住)てくださいます。あなたはイエスが内住してくださるほど、尊い存在です。  
その初めは、イエスとは気づかないほどの小さな始まりであっても、どんどん大きくなり成長していきます。エペソ人への手紙  
4:13 ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身たけにまで達するため

す。

## ま と め

主 題：「実りある人生の法則を知る」

—結実のメカニズム—

- ・今日の元旦メッセージをまとめてみましょう。新年が祝福される年となるために、何が必要でしょうか。新年が実りあるものとなるには、何が必要でしょうか。それには結実のメカニズムを知ることは大切です。
- ・イエスが教えられた結実のメカニズム（奥義）とは、神の祝福のことです。ビジネスマンはビジネスマンとして、家庭の主婦は主婦として、学生は学生として生きることができます。問題は、結実のメカニズムである「実りある人生の法則を知っている」かです。⇒神のみことば
- ・私たちは2017年が、神の祝福に包まれますようにと願います。そこで大切なポイントは、何でしょうか？ 3点

### 1. イエスにとどまること ヨハネ福音書

わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。 ヨハネ 15:5

### 2. みことばにとどまること 申命記

6:4 聞きなさい。イスラエル。主は私たちの神。主はただひとりである。

6:5 心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。

6:6 私がきょう、あなたに命じるこれらのことばを、あなたの心に刻みなさい。

### 3. イエスの手にゆだねること ヨハネ福音書

14:1 あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。

⇒ 結実は自然に現れてきます

\* God bless you !



図1) 価値観の転換は瞬時的

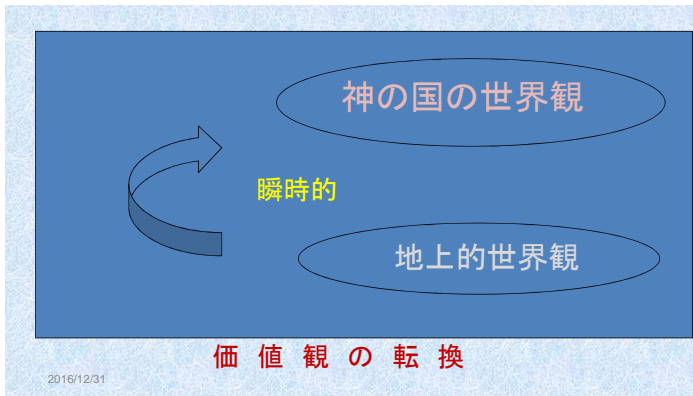


図2) 神の国の世界観は年月とともに

